令和５年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

養護教諭　　1／7枚中

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第１問題　感染症対策について、次の問に答えよ。

問１　「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年３月 文部科学省）に記載されている健康観察について、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）健康観察の目的について、［ア］～［エ］にあてはまる語句を答えよ。

健康観察の目的は、以下のとおりである。
① 子どもの心身の健康問題の［ア］・［イ］を図る。
② 感染症や食中毒などの［ウ］状況を把握し、感染の拡大防止や予防を図る。
③ 日々の継続的な実施によって、子どもに自他の健康に興味・関心をもたせ、［エ］の育成を図る。

（2）健康観察記録の活用方法を三つ記せ。

問２　「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月発行 公益財団法人日本学校保健会）に記載されている感染経路について、［オ］～［ク］にあてはまる名称を答えよ。

［オ］感染：　病原体に汚染された食物などによる感染。
［カ］感染：　唾液の水分などでコーティングされた、５μｍより大きい粒子（１ｍ程度で落下し空中を浮遊し続けることはない）を介する感染。
［キ］感染：　空気中の塵や飛沫核（５μｍ以下の微粒子：空気中を１ｍ以上浮遊）を介する感染。
［ク］感染：　感染している人との接触や汚染された物との接触による感染。

問３　「学校環境衛生管理マニュアル」（平成30年度改訂版 文部科学省）に記載されている教室等の換気の日常点検について、［ケ］～［シ］にあてはまる語句をA～Kから選び、記号で答えよ。

・換気の日常点検は、［ケ］行うものとする。
・換気の日常点検の基準は、「(ア)　外部から教室に入ったとき、不快な刺激や［コ］がないこと　(イ)　換気が適切に行われていること」である。
・石油等を利用する暖房器具の場合には、窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素等）や［サ］の発生が問題となるので換気に注意する。
・教室内の［シ］濃度は、換気の良否等に深い関係があり、［シ］濃度が1,500 ppm 以上になれば換気は不良と考えられている。

A　ごみ　　B　揮発性有機化合物　　C　毎月一回　　D　毎授業日に　　E　一般細菌
F　二酸化炭素　　G　臭気　　H　一酸化炭素　　I　温気　　J　三か月に一回
K　必要に応じて

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　健康診断について、次の問に答えよ。

問1　次の条文は、学校保健安全法施行規則第九条の一部である。［ア］～［カ］にあてはまる語句や数字を答えよ。

第九条　学校においては、法第十三条第一項の健康診断を行つたときは、［ア］日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第十六条に規定する保護者をいう。）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第十四条の措置をとらなければならない。

一　疾病の［イ］を行うこと。
二　必要な［ウ］を受けるよう指示すること。
三　必要な検査、予防接種等を受けるよう指示すること。
四　療養のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。
五　［エ］への編入について指導及び助言を行うこと。
六　学習又は［オ］・作業の軽減、停止、変更等を行うこと。
七　修学旅行、対外運動競技等への参加を制限すること。
八　机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
九　その他発育、健康状態等に応じて適当な［カ］を行うこと。

問2　①～④は、脊柱側わん症の早期発見のための四つのポイントを示している。［キ］～［コ］にあてはまる語句をA～Jから選び、記号で答えよ。

①　［キ］の高さの違い
②　［ク］の位置、高さの違い
③　［ケ］ラインの左右非対称
④　［コ］したときの、背面（肋骨及び腰）の高さの違い

A　首　　B　肘関節　　C　両肩甲骨　　D　前屈　　E　伸展
F　挙上　　G　手掌　　H　前腕　　I　脇　　J　両肩

問3　耳鼻科検診の準備及び方法について、正しいものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

A　器具の消毒については、煮沸消毒が望ましい。
B　検査には側燈あるいはLED等の光源を使用するが、場所全体がある程度明るいことが望ましい。
C　小学校低学年の児童には、器具に対する恐怖心を与えないような配慮が必要である。そのため、検査の順序として耳から始めるとスムーズにいくことが多い。

2025 kyosai-guild.jp

問4　図1は、呼吸にかかわる人体の器官の模式図である。［サ］～［セ］の名称を答えよ。

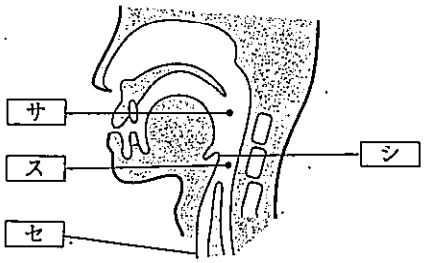

図1

第3問題　健康相談について、次の問に答えよ。

問1　次に示すものは、児童生徒等の健康診断における問診や相談内容のうち、産婦人科医へ相談を要する具体的な基準の一部である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句を答えよ。

・初経は10～14歳の間に発来するのが正常である。10歳未満で月経が開始されるのを［ア］月経、15歳以降に発来するのを遅発月経という。15歳になっても月経が一度もないと原発無月経の可能性を考慮して専門医への受診を勧める。
・初経から数年間は排卵がまだ確立されていないため、思春期女子の月経周期が初経時から規則的であることの方が少ない。しかし、3か月以上月経がこない場合は［イ］月経として専門医への受診を勧める。
・月経時及び月経周辺期に、繰り返し腹痛、頭痛、嘔気・嘔吐などの症状が強く、授業を受けることが困難な場合は、［ウ］として産婦人科受診を勧める。

問2　児童生徒等から次の訴えがあった場合、可能性が疑われる症状名は何か、答えよ。

月経開始の3～10日前からイライラや憂うつ、下腹痛や頭痛、むくみ、食欲の亢進や傾眠等の多彩な精神的・身体的症状が出現し、月経開始とともに減退する。

2025 kyosai-guild.jp

第4問題　救急処置について、次の問に答えよ。

問1　次に示すものは、頭頸部外傷事故が発生した時の対応についてまとめたものである。［ア］～［エ］にあてはまる語句をA～Jから選び、記号で答えよ。

頭頸部外傷が発生したら、［ア］の有無を確認する。
・［ア］がなければ、頚髄・頚椎損傷の疑いを確認する。
・［イ］、筋力低下、しびれ、異常感覚があるときは、頚髄・頚椎損傷を疑う。
・頚髄・頚椎損傷が疑われた場合は動かさないで速やかに［ウ］をする。
・頚髄・頚椎損傷の疑いがなければ、［エ］の有無を確認する。
・［エ］には、頭痛、吐き気、気分不快、けいれんや普段と違う行動パターン、バランステストの異常等がある。

A　ショック　　B　人工呼吸　　C　呼吸の確認　　D　脳振盪症状
E　心停止　　F　運動マヒ　　G　水分補給　　H　熱けいれん
I　意識障害　　J　119番通報・AEDの手配

問2　熱傷について、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）次の事例について、熱傷の程度は何度か、答えよ。

小学校6年生の児童が、理科の実験中に、誤って左手第一指がアルコールランプに触れてしまい、皮膚が腫れぼったく、赤くなってしまった。水ぶくれになっている部分もあり、強い痛みと焼けるような感じがある。

（2）熱傷の手当について述べたもののうち、正しいものをA～Eからすべて選び、記号で答えよ。

A　1度、2度の熱傷で範囲が狭いときは、冷たい水や水道水で痛みが取れるまで冷やす。
B　2度、3度の場合、冷たい水、水道水で冷やし、その後濡れたタオルなどで冷やす。
C　水疱（水ぶくれ）ができているときは、蛇口から勢いよく出ている水道水などを直接熱傷部にあてる。
D　熱傷部が衣類で覆われている場合は、脱がせて急いで冷やす。
E　熱傷の範囲が広い場合、全体を冷却し続けることは、体温をひどく下げる危険性があるので、10分以上広範囲を冷却することは避けて手当をする。

（3）熱傷の手当において、冷却の効果を三つ記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第5問題　「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（令和元年度改訂）」（公益財団法人 日本学校保健会）の内容について、次の問に答えよ。

問1　アトピー性皮膚炎について、A～Dから正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

A　湿疹は、顔、首、肘の内側、膝の裏側などによく現れるが、全身に広がることはない。

B　アトピー性皮膚炎に対する治療の3つの柱の一つは、患部への塗り薬（外用薬）の塗布などの薬物療法を避けることである。

C　心理的ストレスが皮膚炎（＝湿疹）を悪化させる原因になることがある。

D　良くなったり悪くなったりすることを繰り返し、治療による症状のコントロールは難しい。

問2　アトピー性皮膚炎のある児童生徒が、屋外プールで水泳を行う際の配慮事項を具体的に二つ記せ。

問3　アドレナリン自己注射薬（エピペン®）の取り扱いについて、a～dのうち正しいものは○、誤っているものは×を答えよ。

a　オレンジ色のニードル（針）カバーを上に向けて、エピペン®のまん中を利き手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外し、ロックを解除する。

b　エピペン®を太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードル（針）カバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付け、即座にエピペン®を太ももから抜き取る。

c　注射後、オレンジ色のニードル（針）カバーが伸びているかどうかを確認する。ニードル（針）カバーが伸びていれば注射は完了である。

d　エピペン®は医療機関外での一時的な緊急補助治療薬であるため、万一、エピペン®が必要な状態になり使用した後は速やかに医療機関を受診しなければならない。

第6問題　保健教育について、次の問に答えよ。

問1　「GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用等について（通知）」（令和3年3月12日 文部科学省初等中等教育局長）で示されたＩＣＴの活用に当たっての児童生徒の目の健康などに関する配慮事項について、［ア］～［オ］にあてはまる語句や数値（時間）を答えよ。

・端末を使用する際に良い［ア］を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30cm以上離すようにすること。
・長時間にわたって継続して画面を見ないよう、［イ］に1回は、20秒以上、画面から目を離して、遠くを見るなどして目を休めることとし、端末を見続ける一度の学習活動が長くならないようにすること。
・画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度や［ウ］を調整すること。
・睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「［エ］」の分泌が阻害され寝つきが悪くなることから、就寝1時間前からはＩＣＴ機器の利用を控えるようにすること。
・心身への影響が生じないよう、日常観察や学校健診等を通して、［オ］とも連携の上、児童生徒の状況を確認するよう努めること。

2025 kyosai-guild.jp

問2. 次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「保健体育編 第2章 第2節〔保健分野〕 2 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防」の記述を抜粋したものである。［カ］～［ケ］にあてはまる語句をA～Jから選び、記号で答えよ。

（ウ） 生活習慣病などの予防

⑦ 生活習慣病の予防

生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、［カ］などを適宜取り上げ理解できるようにする。

その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で［キ］が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

④ がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その［ク］には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、⑦、④の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、［ケ］についても触れるように配慮するものとする。

A 動脈硬化　B 適応能力　C 要因　D 毛細血管の収縮　E 糖尿病
F 疾病の回復　G 治療　H 個人差　I 歯周病　J 感染症

2025 kyosai-guild.jp

問3　次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「保健体育編 第2章 第2節〔保健分野〕2 内容 (2) 心身の機能の発達と心の健康」の記述を抜粋したものである。［コ］～［シ］にあてはまる語句をA～Hから選び、記号で答えよ。

(エ)　欲求やストレスへの対処と心の健康

⑦　精神と身体の関わり

精神と身体には、密接な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていることを理解できるようにする。また、心の状態が体にあらわれたり、体の状態が心にあらわれたりするのは、［コ］などの働きによることを理解できるようにする。例えば、人前に出て緊張したときに脈拍が速くなったり口が渇いたりすること、身体に痛みがあるときに集中できなかったりすることなどを適宜取り上げる。

④　欲求やストレスとその対処

心の健康を保つには、適切な生活習慣を身に付けるとともに、欲求やストレスに適切に対処することが必要であることを理解できるようにする。

欲求には、生理的な欲求と心理的、社会的な欲求があること、また、精神的な安定を図るには、日常生活に充実感をもてたり、欲求の実現に向けて取り組んだり、欲求が満たされないときに自分や周囲の状況からよりよい方法を見付けたりすることなどがあることを理解できるようにする。

ここでいうストレスとは、外界からの様々な刺激により心身に負担がかかった状態であることを意味し、ストレスの影響は原因そのものの大きさとそれを受け止める人の心や身体の状態によって異なること、個人にとって適度なストレスは、［サ］であることを理解できるようにする。

その際、過度なストレスは、心身の健康や生命に深刻な影響を与える場合があることに触れるようにする。

ストレスへの対処にはストレスの原因となる事柄に対処すること、ストレスの原因についての受け止め方を見直すこと、友達や家族、教員、医師などの専門家などに話を聞いてもらったり、相談したりすること、［シ］を身に付けること、規則正しい生活をすることなどいろいろな方法があり、それらの中からストレスの原因、自分や周囲の状況に応じた対処の仕方を選ぶことが大切であることを理解できるようにする。

また、リラクセーションの方法等を取り上げ、ストレスによる心身の負担を軽くするような対処の方法ができるようにする。

A　知識　　B　自己形成　　C　精神発達上必要なもの　　D　コミュニケーションの方法
E　生理的機能　　F　神経　　G　主体と環境の相互作用　　H　身体の成長に有効なもの

2025 kyosai-guild.jp

令和５年度　解答例

養護教諭

第１問題（26点）

※アとイは順不同

問１	（１）	ア	早期発見（２点）		イ	早期対応（２点）		
		ウ	集団発生（２点）		エ	自己管理能力（２点）		
	（２）	感染症及び食中毒などの集団発生の早期発見に役立てる。（２点）						
		いじめ、不登校傾向、虐待等の早期発見に役立てる。（２点）						
		健康相談・保健指導につなげる。（２点）						
問２	オ	経口（２点）			カ	飛沫（２点）		
	キ	空気（２点）			ク	接触（２点）		
問３	ケ	D（１点）	コ	G（１点）	サ	H（１点）	シ	F（１点）

第２問題（25点）

問１	ア	21（二十一も可）（２点）		イ	予防処置（２点）		
	ウ	医療（２点）		エ	特別支援学級（２点）		
	オ	運動（２点）		カ	保健指導（２点）		
問２	キ	J（１点）	ク	C（１点）	ケ	I（１点）	コ	D（１点）
問３	C（１点）						
問４	サ	咽頭（２点）		シ	喉頭蓋（２点）		
	ス	喉頭（２点）		セ	気管（２点）		

第３問題（８点）

問１	ア	早発（２点）	イ	続発無（２点）
	ウ	月経困難症（２点）		
問２	月経前症候群（２点）			

2025 kyosai-guild.jp

令和５年度　解 答 例

養護教諭

第４問題（15点）

問１	ア	I（1点）	イ	F（1点）	ウ	J（1点）
	エ	D（1点）				
	（1）	2　（2点）度	（2）	A、B、E（完答3点）		
	（3）	痛みを和らげる。（2点）				
		患部の腫れを抑える。（2点）				
		熱傷が深くなることを防ぐ。（2点）				

第５問題（9点）

問１	C（1点）					
問２	紫外線を全身に浴びることにより湿疹が急激に悪化するため、ラッシュガードの使用を許可する。（2点）					
	塩素が悪化要因となるため、プール後には、皮膚に付着した塩素をシャワーでよく落とすよう指導する。（2点）					
問３	a	×（1点）	b	×（1点）	c	○（1点）
	d	○（1点）				

第６問題（17点）

問１	ア	姿勢（2点）	イ	30分（2点）		
	ウ	明るさ（2点）	エ	メラトニン（2点）		
	オ	学校医（2点）				
問２	カ	I（1点）	キ	A（1点）	ク	C（1点）
	ケ	F（1点）				
問３	コ	F（1点）	サ	C（1点）	シ	D（1点）

2025 kyosai-guild.jp